

第4期第16回 練馬区地域包括支援センター運営協議会 会議要録

第4期第16回 練馬区地域密着型サービス運営委員会 会議要録

1 日時	平成30年3月29日(水) 午後6時～午後7時30分
2 場所	練馬区役所本庁舎5階庁議室
3 出席者	<p>(委員18名)</p> <p>宮崎牧子委員長、吉賀成子委員、豊哲夫、中村正文委員、飯塚裕子委員、江幡真史委員、田中節子委員、大泉小百合委員、瓦井徹委員、會田一恵委員、植村光雄委員、芹澤考子委員、美玉典子委員、堀洋子委員、加藤均委員、鶴浦乃里子委員、青木伸吾委員、里見茂郎委員</p> <p>(事務局5名)</p> <p>高齢施策担当部長、高齢社会対策課長、高齢者支援課長、介護保険課長、光が丘総合福祉事務所長</p>
4 傍聴者	10名
5 議題	<p>○ 練馬区地域包括支援センター運営協議会</p> <p>1 練馬区地域包括支援センター運営方針について …資料1、資料1別紙</p> <p>2 地域包括支援センターの設置および指定介護予防支援事業者の指定について …資料2</p> <p>3 平成29年度第2回練馬区地域ケア推進会議について …資料3、資料3別紙、資料4-1～4-4、資料5</p> <p>4 その他</p> <p>○ 練馬区地域密着型サービス運営委員会</p> <p>1 練馬区地域密着型サービスに係る独自報酬基準に継続について …資料6</p> <p>2 平成30年度地域密着型サービス実施方針について …資料7</p> <p>3 平成30年度地域密着型サービス事業者の公募について …資料8</p> <p>4 指定地域密着型サービス事業者等の指定について …資料9</p> <p>5 指定地域密着型サービス事業者等の指定更新について …資料10</p> <p>6 その他</p> <p>○ その他</p> <p>1 条例改正について(報告) …資料11</p> <p>2 第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について</p>
6 配付資料	<p>(資料1) 練馬区地域包括支援センター運営方針について</p> <p>(資料1別紙) 平成30年度練馬区地域包括支援センター運営方針(案)</p> <p>(資料2) 地域包括支援センターの設置および指定介護予防支援事業者の指定について</p> <p>(資料3) 平成29年度第2回練馬区地域ケア推進会議</p> <p>(資料3別紙) 練馬区における地域ケア会議について</p> <p>(資料4-1) 練馬高齢者相談センター 地域ケア個別会議 取組状況と課題</p> <p>(資料4-2) 光が丘高齢者相談センター 地域ケア個別会議 取組状況と課題</p> <p>(資料4-3) 石神井高齢者相談センター 地域ケア個別会議 取組状況と課題</p> <p>(資料4-4) 大泉高齢者相談センター 地域ケア個別会議 取組状況と課題</p> <p>(資料5) 地域ケア圏域会議 取組状況と課題</p> <p>(資料6) 練馬区地域密着型サービスに係る独自報酬基準の継続について</p>

	<p>(資料7) 練馬区地域密着型サービス実施指針(案)  (資料8) 平成30年度地域密着型サービス事業者公募要項(案)  (資料9) 指定地域密着型サービス事業者等の指定について  (資料10) 指定地域密着型サービス事業者等の指定更新について  (資料11) 条例改正について(報告)  冊子 第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画</p>
7 所管課	<p><b>(地域包括支援センター運営協議会)</b>  高齢施策担当部 高齢者支援課 地域包括支援係  TEL: 03-5984-2774(直通)  Eメール: KOUREISYASIEN02@city.nerima.tokyo.jp</p> <p><b>(地域密着型サービス運営委員会)</b>  高齢施策担当部 介護保険課 事業者指定係  TEL: 03-5984-1461(直通)  Eメール: KAIG015@city.nerima.tokyo.jp</p>

## 第16回地域包括支援センター運営協議会 第16回地域密着型サービス運営委員会

（平成30年3月29日（木）：午後6時00分～午後7時30分）

### ○委員長

これより第4期第16回練馬区地域包括支援センター運営協議会および練馬区地域密着型サービス運営委員会を開会する。

最初に事務局から、本日の資料および出席委員などの報告をお願いする。

### ○事務局

【委員の出欠、傍聴の状況報告、配布資料の確認】

### ○委員長

地域包括支援センター運営協議会を開催する。

案件1、練馬区地域包括支援センター運営方針について。

資料1について、高齢者支援課長に説明をお願いする。

### ○高齢者支援課長

【資料1について説明】

### ○委員長

資料1について、ご質問やご意見があればお願いする。

### ○委員

資料1「6 ケアマネジメント支援の実施方針」について質問する。

地域包括支援センターでもケアマネジャーの支援を行うとのことだが、関係団体がばらばらに支援を実施しても、なかなか効果が上がらないのではないか。地域包括支援センターの方針の中で、何か連携をとるなどの情報があればお知らせいただきたい。

### ○高齢者支援課長

今回、地域包括支援センターの運営方針ということで、考え方を整理してお示したところである。関係団体には、ケアマネジャー連絡会、主任ケアマネジャー協議会、事連協の居宅介護支援の部会、そして、研修センターがある。地域包括支援センターの業務の中に、包括的ケア、継続的ケアマネジメントのための会議を開催するというものがあり、関係機関と連携しながら行うという考え方を持っている。委員のご指摘を踏まえて、30年度から実施していきたいと考えている。

### ○委員

よろしく願います。

**○委員長**

そのほか、いかがか。

(なし)

**○委員長**

続いて案件の2、地域包括支援センターの設置および指定介護予防支援事業者の指定について。資料2について高齢者支援課長に説明をお願いします。

**○高齢者支援課長**

【資料2の説明】

**○委員長**

資料2について、ご質問やご意見があればお願いします。いかがか。

(なし)

**○委員長**

続いて案件の3、平成29年度第2回練馬区地域ケア推進会議について。

資料3、資料3別紙、資料4-1～4-4、資料5、以上の説明を高齢者支援課長にお願いします。

**○高齢者支援課長**

【資料3、資料3別紙、資料4-1～4-4、資料5について説明】

**○委員長**

資料3、資料4、資料5について、ご質問やご意見をお願いします。

**○委員**

資料3の4課題①、対応案に関連して、数年前に本会議において、コンビニエンスストアとの連携に関する取組みについて委員から紹介があった。非常に素晴らしい取組であると受けとめている。今回、それをケア会議、圏域会議全体の大きな取組として課題認識し、対応案が示されている。これについて質問する。

その取組は練馬区オリジナルのものであって、23区全体のみならず、国全体に広がりを持ち得るようなものを感じている。そういう可能性があるかと区は認識しているか、また働きかけ等は考えているか。

二つ目は、その取組はコンビニエンスストア側にとっても、コミュニティとの関係を深めるという点で、非常に意義を感じていると考えられる。一方で、コンビニエンスストアは、雇用が不安定なことから、ケアが不十分になってしまうなどのリスクが起り得るのではないかと心配している。その点で問題意識を持っているか。

## ○高齢者支援課長

先日、研修ツールができたということで、完成発表会、体験会に出席してきた。

練馬区の高齢者のうち、77%はコンビニエンスストアから300メートル以内に居住していると聞いており、このような取組は我々も非常に有効だと考えている。地域包括支援センターなどを拠点に、認知症対策の対応方法を醸成していくため、広く周知していくことが一つの大きな柱だと考えている。また、今回のコンビニエンスストアと連携ができることを契機に、例えばコンビニエンスストアと協定を結ぶことにより、見守りをより広げるなどの取組も考えられる。

二つ目の質問について、今回の研修ツールは、まずフランチャイズのオーナーを中心に理解を深めてもらい、そこから派生していくものと考えている。コンビニエンスストアの店員は生活の事情で変わることもあるが、まずはオーナーが認知症への対応力を高めていくものであることから、十分、有効なものであると認識している。

もし何か、当事者の方から補足等あればお願いしたい。

## ○委員

もう1年半も前だと思うが、初めてお話し会をするときにここで皆様に告知をし、これまで、練馬区の皆様に応援していただいているところである。

3月には、この行事が立て続けに三つあった。つい先日は、街づくりの支援をいただく選定委員会等から、年度末の中間報告ということで発表したところである。その中でこのプロジェクトは、大変ご関心やお問い合わせをいただいていると実感している。練馬区内だけでしかやらないと言える状況ではないと考えるが、一方で、供給する側の人材をどのようにこれから整備していくかということが課題だと考えている。課題を解決しながら、もしかしたら本当に全国にこれが伝わっていくかもしれないということが、メンバーの希望になっている。

先日も光が丘・田柄・春日町地域で、2店舗でイベント形式のお客さんを集めたこのゲーム会を実施した。イベントは店長を中心に行ったが、アルバイトの方から僕たちもぜひ入りたかったというお声をいただくなど、アルバイトさんたちにも大変関心のあるイベント、ゲームになっている。オーナーから普及していくものだが、徐々にアルバイトの方にも伝わるものになってほしいと考えている。

## ○委員長

そのほか、いかがか。

## ○委員

春日町で実施された時に私も出席した。しかし、認知症のデイサービス事業所に全然連絡がなかった。高齢者支援課に事業所として出席して良いかを確認したところ、ぜひ参加してくださいとのことだったので参加した。町会の方も集まっていた。

コンビニエンスストアの店長さんとお話をした。地域の認知症デイサービス事業所の方たちと手をつなぎたい、また、どうやって対処していいかわからないという部分があるので、今後もよろしく願いするという話だった。

### ○委員長

そのほか、いかがか。

### ○委員

私もこの取組みは、すばらしいものであると認識している。対応案に「コンビニエンスとの連携等により」と書いてあるが、コンビニエンスストアだけなのか、他はやらないのかを知りたい。

### ○高齢者支援課長

今回、地域に非常に身近な拠点ということでコンビニエンスストアを挙げているが、高齢者を支える拠点はそれだけではないと考えている。

地域ケア圏域会議でも、地域のサロンを指導している方と連携して、このような取組みを行っている。そういった方との連携も非常に重要であり、地域の介護事務所等との連携が深まって、顔の見える関係ができていくということが非常に有効であると認識している。

今回はコンビニエンスストアだけだが、商店も含めて、さまざまな拠点と連携を深めていくことを考えている。その中で、民生委員さんですとか、あるいは町会・自治会ですとか、そういった主体も含めて協議できればと考えている。

### ○委員

コンビニエンスストアの後ろに、「等」とか「など」という言葉を入れた方がいいのかと思ったのだが。

### ○高齢者支援課長

「等」の場所が、「コンビニエンスストアとの連携等」ということで、つける位置、係る部分というのを意識してつければよかったと考えている。

もともと、そういったところも含めて考えているとご認識いただきたい。

### ○委員長

ほかに、いかがか。よろしいか。

(なし)

### ○委員長

続いて案件の4、その他は、ありません。

これで、地域包括支援センター運営協議会を終了する。

続いて、地域密着型サービス運営委員会を開催する。

案件1、練馬区地域密着型サービスに係る独自報酬の基準の継続について。

案件2、平成30年度地域密着型サービス実施指針について。

案件3、平成30年度地域密着型サービス事業者の公募について。

以上、案件1から案件3までを同時に扱うこととする。

資料6から資料8の説明を、介護保険課長にお願いします。

**○介護保険課長**

【資料6、資料7、資料8について説明】

**○委員長**

資料6から資料8の説明に対して、ご質問やご意見をお願いします。いかがか。

**○委員**

資料8の1、公募する日常生活圏域別の地域密着サービスというところで、石神井が選定済になっている。これは、第6期からのずれ込みというふうに考えていいのか説明いただきたい。

**○介護保険課長**

第7期の見込み量を踏まえて、見合った形で整備を進めている。おっしゃるとおりである。

**○委員長**

そのほかいかがか。

**○委員**

資料6の独自報酬基準の決め方について、小規模多機能を運営している者として感謝の気持ちを伝えたい。こういう地域密着の小規模多機能などを応援する制度が、23区全部にあるかというところではない。これからもこの基準に見合った自助努力、事業努力を重ねながら、地域にとって重要な小規模多機能として、地域密着を続けていきたい。

**○介護保険課長**

調べたところ、この制度を実施しているのは都内で本区を含めて4区だけである。

文京区、板橋区は、以前は実施していたが、現在は中止している状況である。また、東京都日野市も中止に至っている。全国的にもこれを設定する自治体は減少傾向にある。

練馬区は地域密着型サービスの利用促進、また施設の整備ということも含めて進めているところであり、今回、指針にも記載しているところである。

**○委員長**

そのほかいかがか。

**○委員**

公募要領4ページの7、その他の（2）について。

練馬区として、暴力団排除条例の趣旨等も踏まえて公募を行うということについては評価したい。前回の趣旨は、暴力団等反社会的勢力でないこと等に関する表明・確約書を提出書類として要求すべきだということもあるが、今回、提出書類には含まれていない。この点はいかがか。

**○介護保険課長**

私どもは、委員のご指摘を踏まえた形、反映させる形で、ご用意させていただいた。いま一度ご指摘をいただき、積極的な取組、対応をしていきたいと考えている。

**○委員長**

そのほかいかがでしょうか。よろしいか。

(なし)

**○委員長**

続いて、案件4、指定地域密着型サービス事業者等の指定について。案件5、指定地域密着型サービス事業者等の指定更新について同時に扱う。資料9、資料10の説明を、介護保険課長に願います。

**○介護保険課長**

【資料9、資料10について説明】

**○委員長**

ご質問、ご意見があれば、願います。いかがか。

(なし)

**○委員長**

続いて、案件の6、その他についてはなしということで、地域密着型サービス運営委員会を終了する。

全体としてのその他に入る。

案件の1、条例改正について（報告）、資料11について、介護保険課長に説明を願います。

**○介護保険課長**

【資料11について説明】

**○委員長**

それでは続きまして、案件の2、第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定について、説明を高齡社会対策課長に願います。

**○高齡社会対策課長**

【案件の2について説明】

**○委員長**

ぜひ、チラシなどを通じて、地域包括支援センターの認知を高めていくように活用して欲しい。



今回の委員会が、今期最後となる。3年間にわたって委員の皆様にと、この会議に参画いただきご意見をいただいた。3年間にわたる委員としての感想について、一人ずつ一言いただきたい。

#### ○委員

3年間を振り返ってみて、ただひたすら勉強させていただいたという感じで、自分では何ら積極的な提案ができなかったことが残念で、勉強不足に思う。

民生委員もやっているの、今後は、ここで学んだことを地域で生かしていきたい。

#### ○委員

私は、全国有料老人ホーム協会にも所属している。この3年間で理解を深めることができた。有料老人ホームと地域包括との橋渡しが、自分なりにできたのではないかなと思っている。

#### ○委員

私はこの委員会を通じて、地域包括と、自分たちの地域をつなぐお手伝いをしたいと思っていた。今は、老人会、町会、あとは集会所とかセンターとかの運営のお手伝いもしている。そういう機会を利用してやっていかなければいけないと思った。

#### ○委員

この委員会は、非常に積極的に皆さんがご発言されて、形式的な場ではなくて、実質的な議論ができたことについて感謝を申し上げたい。

また、その意見を事務局の方々が真摯に受けとめ、しっかりフィードバックしていただいたことで、より活性化したものになったと思う。

愛する練馬区が、今回新しい方針のもとに、介護を含めてスタートをしていく。是非、この取り組んできた内容が、具体的に区民に喜ばれるものになるよう、引き続き取り組んでいただきたい。

#### ○委員

私がこの会に参加するきっかけは、母親を10年間、自宅で介護したことである。様々なことを感じることもあり、いろいろな意見を言いたいと思い参加した。練馬区では様々な施策がなされているが、必要な情報にアクセスできない人たちに、どの様に届けるかということがすごく大事だと思う。

私は長いこと教育畑の仕事をしてきた。そこでもこういった地域包括で支援をするということがすごく重要になっている。ここで教えていただいたことが実現していくように、私も私の立場のところで力を尽くしたいと思う。いろいろ勉強になった。

#### ○委員

私は、遠距離介護をしている。私は練馬区在住、母が長崎に一人である。練馬区のサー

ビスを受けられたら、どれだけ良かったらと感している。自治体それぞれで取組が違うということと、すごく身近なことを真剣に考えて取り組んでいると感じた。先ほどのコンビニエンスストアとの取組などが、地方の小さいところまでも届いて、もっとサービスが受けられるような状況になれば良いと思う。

## ○委員

歯科医師会の理事で入らせてもらった。

3年間携わってきてやっとわかってきた。お礼を申し上げる。非常に勉強になった。また、介護保険の審査委員をさせていただき、多方面で勉強させていただいた。

歯科医師会では、摂食嚥下支援センターと訪問促進事業というものを区とタイアップしてやらせてもらっている。そちらもよろしくお願したい。

歯科医師会で、障害者歯科をやっている。木曜と土曜日にやっていて、日曜日は休日診療をやっている。木曜日と土曜日の障害者歯科には、東京の四大学の麻酔科の先生で、ほぼほぼ教授が来ている。その麻酔科の先生がいる状態で障害者の人を診てもらえるので、かなりセーフティな診療になると思う。

## ○委員

前任者から引き継ぎ、途中からの参加となった。

勤務先に近い地域包括の方と連携をとることが、最近はかなり多くなってきた。

特に、勤務先が、75歳以上の高齢者がほとんどの薬局であり、ここ数年で、特に地域包括支援センターのスタッフの方と、心配な患者さんを介して十分な見守りをしていただけという自信、安心感がとても増えてきた。

私どもが心配する前から先に目をかけていただいているということは、医療従事者としても、とても心強く思っている。

そして、今回この事業計画・福祉計画を拝見し、本当に充実した内容で、実現できるに決まっているというような、自信をもって見ることができた。

決して理想を言っているわけではなくて、皆さんのご議論のもと、でき上がったからこそ、必ずこのように進むであろうという自信をもって参加していけそうな気がしている。

## ○委員

3年間、非常に勉強になった。我々は練馬区柔道接骨師会として、どのようなことができるかいつも考えていた。我々もリハビリ等を含めて、来ている患者さんに対して介護にならないような助言をしている。我々の会員も、そういった勉強をずっとしている。今後も地域の皆様のために尽くしていきたいと思う。

言うのは簡単だが、これを継続するエネルギーは、非常に大変なことだと思う。今後とも長い目で、徐々によくなるように、我々も協力していきたい。

## ○委員

私は、練馬区の民生児童委員協議会から参加している。

練馬区全体の民生委員の立場からという意見よりも、民生委員としての個人的な見方の

方が多くて、全体的な見方からするとどうだったかなという思いがある。

しかしながら、こういうふうな世の中になればいいなという漠然としたものであっても、少しずつでも形になっていくことがよくわかり誇らしく思っている。

地域包括支援センターには本当に日々お世話になっており、あの方たちがオーバーワークにならないことを切に願っている。

また、事業者さんもいろいろとお世話になるところが多く、通っていらっしゃる方に「どうですか」というふうにお聞きすることがある。「楽しい」といって通っている方がほとんどなので、安心している。しかし、まだしっかり利用できているのは、ほんの一部である。

私たちが高齢になって、高齢者でいっぱいになった時に、どうなるのか心配ではあるが、今度は利用する立場として、いい利用者になっていく必要があると思っている。

また、地域包括支援センターに本当によくしてもらっていたが、引っ越しした途端にどこに行ってもいいのかわからなくなってしまう。練馬に戻りたいというお話を何件か聞いている。行政の皆さんやここに参加している皆さんの結集がいろいろと実っていくのだなと実感している。勉強になった。

## ○委員

3年間お世話になり、感謝申し上げます。

私は社会福祉協議会で、成年後見制度の利用促進、第7期の期間中に法人貢献が対応できるような形で対応を進めている。非常に勉強になりましたし、微力でしたが参加させていただいて良かったと思っている。

3年間のうち2年、4か所の本所の評価に係わらせていただいた。本当に現場の職員は非常に誠実に、忙しい中、対応していて、非常にご苦勞されていると実感した。

今後、社会福祉協議会としては、支え合いの地域づくり、住民のボランティアの活動の活性化などの視点から、介護保険を軸にした支え合いの地域づくりということで、お互いの強みで協業していきたい。

## ○委員

ねりま社会福祉士会から参加している。

障害の方の高齢化が進んでいる。特に第一に自閉症と認定された方たちが50代を過ぎている。障害の施策ではできないようなことが増えてきている。地域包括支援センターでも障害の方の相談を受けるということで、地域包括支援センターでも徐々にそういう方たちを受け入れる方向になって欲しいと思っている。

## ○委員

訪問介護事業所から出ている。我々も厳しいことを言ってきた。しかし、それが3年間で徐々に改善されて、すごく良くなったと感じている。

我々事業所の意見や要望を、区の方が話をしっかり聞いてくれて、良い話ができたとすごく印象深かった。

### ○委員

地域密着事業者連絡会の認知デイをやっている。

皆様の意見を元にして、私たちも認知デイを頑張っていきたいと思っている。

### ○委員

3年間本当にお世話になりました。

毎回この委員会には、本所のセンター長がお見えになって、一緒に話を聞いて考えてくれていた。本所のセンター長と一緒に仕事させていただく機会も多々あり、この3年間は私のお礼とあわせて、事業所からも本所のセンター長4名の方にもお礼を申し上げたい。

私たち事業所、私個人も含めて、この委員会での経験を通じて、計画も含めた制度の理解を地域に落とすということが事業所の役割、責任だと思っている。

今後も私たち一つ一つの事業所のテリトリーの中で、各制度を地域に落とすことを努力していきたいと思っている。

### ○委員

私は、ケアマネジャー連絡会からケアマネジャーの代表的な立場で参加している。

自分も含めて非常に勉強になったことと、やらなければいけないなと思ったことが非常に多かった会なので、大変貴重な経験ができた。

この会で得られた知識や経験を周りにも広げていくことが必要であると思う。

### ○委員長代理

私は他区の地域包括運協にも係わっている。区によって全然やり方も違うし、雰囲気も進め方も全然、メンバーも違うが、練馬区では公募委員の方々、地域の方たちが直接、声を上げて意見を活発に出していて素晴らしいと感じている。

地域の福祉の中心になる地域包括支援センターが、皆さんの考えを吸い上げながら進んでいくというのは本当にうらやましい話である。きちんと第三者評価が入っていて、評価が進んでおり、素晴らしいなと感心している。

### ○委員長

委員の方々それぞれがこの会議に出席され、いろいろ参考にし、またそれぞれの立場で地域に帰って、その情報などを生かしていることを聞き、大変有意義な会になり良かったと思う。

今期で地域包括支援センターが25か所になりスタートしていく。かなり数が多くなるため、その質をきちんと維持・向上していかななくてはいけないということが大きな課題であると思う。

また、昨今、福祉や介護の人材を確保することが大変困難な状況になっている。今、働いている職員の方たちがやめないように、あるいは、交代する場合は、新しい若い職員が育っていくように、行政と地域がいろいろタッグを組んでいかななくてはいけないと思う。そういった点でも、人材養成、人材確保をこれから進めていかななくてはいけないと、皆さんの意見を伺い再認識した。

3年間、いろいろと活発な意見をいただきました。感謝する。  
続いて、高齢施策担当部長からもご挨拶をお願いします。

### ○高齢施策担当部長

3年間、大変お忙しい中、ご参加いただき感謝申し上げます。

団塊の世代が後期高齢者になる2025年は、もう目前である。介護が必要な方、ひとり暮らし高齢者、認知症高齢者が増える見込みとなっている中で、地域包括支援センターを機能強化することが、大変大きな課題であり、これを何とかするというのが、今回、私どもとしては目標だと考えていたところである。

委員の皆様、前向きで建設的なご議論をたくさんいただき、委員長、それから委員長代理によくまとめていただき、枠組みとして形にすることができた。

これからは、地域包括支援センターと私どもが一緒になって、着実な実施とサービス向上に向けて取り組んでいきたいと考えている。

高齢の問題がどんどん複雑化する中で、私どもも施策を生きたものにするためには、区民の皆様の声を始め、事業者の皆様、関係団体の皆様の実感に基づいて進めていくことが、ますます重要になっていくと考えている。これからも引き続きご意見をお寄せいただきたい。このたびは、お礼を申し上げます。

### ○委員長

最後に事務局から連絡をお願いします。

### ○事務局

【第4期委員の任期満了、委員の公募について】

### ○委員長

以上で、第4期第16回練馬区地域包括支援センター運営協議会および練馬区地域密着型サービス運営委員会を終了する。

年度末のお忙しい中、活発なご意見をいただき感謝する。